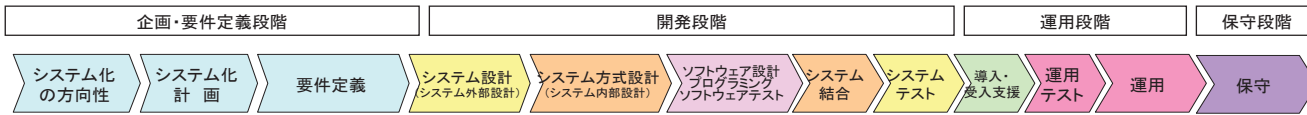


# 信頼性向上・取引可視化のための「モデル取引・契約書」の全体像

## 《フェーズ》

(各フェーズにおける論点のマッピング)



## ○ 各フェーズ共通事項等

- ・プロセス・用語の定義の明確化

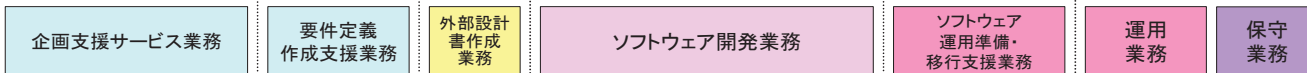
## 《契約プロセス》(例)



## 《契約プロセス・手続き規定》

- ・多段階契約と再見積りの考え方を採用
- ・LOI(仮発注合意書)モデルを策定
- ・マルチベンダ方式、分割発注時の考慮事項の整理

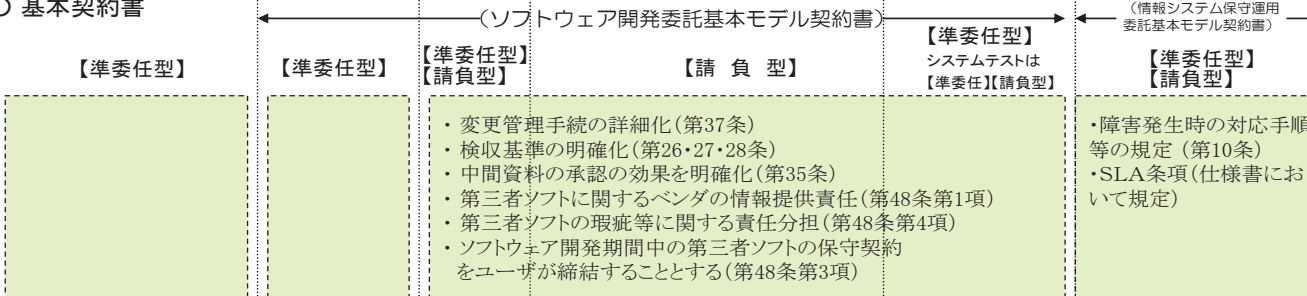
## 《モデル契約書》



## 《責任関係》

- ・ユーザ・ベンダの役割分担の明確化(第8条関係〈作業責任分担〉)
- ・プロジェクトマネジメントの責任(第13条)
- ・未決事項の確定手続・時期の明確化(第36条)
- ・セキュリティ対策の責任の明確化(第50条)

## ○ 基本契約書



## 《主要論点整理》

- ・フェーズの分類と契約類型
- ・再委託におけるユーザ承諾の要否(第7条)
- ・損害賠償責任(第53条)
- ・著作権の帰属(第45・46条)
- ・第三者ソフトウェアに関わる瑕疵(第48条)

## ○ 個別契約書

- ・個別契約書(サンプル)
- ・業務仕様書(サンプル)  
(アプリケーション保守、オンサイトアウトソーシング)

## 《関連ドキュメントモデル》

<ul style="list-style-type: none"> <li>・RFI</li> <li>・RFP、セキュリティ要求仕様書</li> <li>・提案書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務終了報告書(第18条)</li> <li>・業務終了確認書(第18条)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務終了報告書(第23条)</li> <li>・業務終了確認書(第23条)</li> <li>・外部設計書検収依頼書(兼納品書)【請負型】の場合</li> <li>・外部設計書承認書【請負型】の場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検収依頼書(兼納品書)(第26条)</li> <li>・検査合格書(第28条)</li> <li>・業務終了報告書(第32条)</li> <li>・業務終了確認書(第32条)</li> <li>・変更提案書・管理書(第34～37条)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドキュメントの定義の明確化(参考:第2条)</li> <li>・プロジェクト推進体制図(第9・10条関連)</li> <li>・作成者(ユーザ(内)、ベンダ)役割分担の明確化</li> </ul>
--	--	--	---	--

## 《契約プロセスガイド/条文解説の記載事項》

<ul style="list-style-type: none"> <li>・超上流工程の重要性</li> <li>・ステークホルダ(経営層、業務部門、情報システム部門)の合意の可視化の必要性</li> <li>・運用・保守も見据えた計画・体制・コスト等への配慮</li> <li>・要件定義における信頼性向上の視点の必要性</li> <li>・見積書(再見積の必要性、リーガルポリシーの明確化)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者ソフトウェアの利用の際に共有されるべきリスク情報</li> <li>・オープンソースを利用する場合のリスク評価</li> <li>・必要な情報を提供し合い、セキュリティ基準等公表情報を参照しつつユーザ・ベンダ間で協議の上で実装するセキュリティ対策を決め、セキュリティ仕様書を作成・合意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO20000、ITIL等との関係の整理</li> </ul>
--	--	--

・システム再構築では、企画段階で現行システム調査・分析を行い、再構築方法、想定されるリスク対策等を検討